

三栄です

こんにちは いつもお世話になっております

平成二八年熊本地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます

これまででは、地震があまり来ないと言われていた九州地方を襲った地震の報には本当に驚きました。やはり、日本列島はどこに行っても天災と隣り合せだということを改めて気づかされました。

東日本大震災以来、こ

うした自然災害は局地的な問題ではなく、みんなで支え合っているという気持ちに日本中があらわれています。弊社三栄サービスも、常総の水害の時のようにすぐにトラックを出動させてというわけにはいかないとは思いますが、何とか出来ることを社員全員で考えて、支援を継続していきたいと考えております。

熊本地震復興支援活動報告
『微力ですが、今出来ることをやっていきます』

まず、四月の発災からすぐに、府中市の方から熊本に向かう支援車両が救援物資を運んでくれるという知らせを聞き、依頼のあったペットボトルの水とマスクを購入し、日資連青年部の救援物資として届けました。



そして、五、六月と二回に渡り、日資連青年部員やOBと共に熊本市内、益城町内でボランティア作業をして参りました。熊本市では、マンショ

第38号

発行元

株式会社
三栄サービス

東村山市
久米川町
1-16-5



IPSuS 0002394



益城町災害支援センターにて

ンの八階の家財道具の片づけをしました。マンション自体は耐震もしっかりしていて大丈夫だったのですが、揺れを逃がすためか上層階はかなり揺れ幅が激しかったようで、家具、家財道具がかなり散乱していました。その後の余震もあり、不安な日々を過ごされているようでした。益城町では一軒家の家財道具の片づけをさせて頂きました。屋根がやられたため、家自体は倒壊を免れたのですが、

が、天井や床が濡れて抜けてしまったり、家財道具にカビが生えてしまったようです。被災ごみとは言え、元は家主の大切な家財道具。お気持ちに寄り添い丁寧にお片付けさせて頂きました。

また、日資連の熊本の



会員である西原副会長にお会いし、現地での状況をお聞きしたり、震災ごみの仮置き場などを視察しました。市内のごみステーションも大変な山になってしまいましたが、仮置き場も毎日の被災ごみの搬入で山盛りの状態でした。被害のひどかった益城町も見えてきましたが、ニュース等でご覧になっている通りのすさまじい光景が広がっていました。東日本のような火災や津波がないのにこれだけの破壊力

ということとは、地震そのものがどれだけすごかったのかを物語っています。今回熊本で体感して、改めて地震の恐ろしさと日頃の準備、訓練の必要性を感じました。皆様、改めて地震への備えを確認させて頂きたく存じます。

集回収団体連絡会で講演させて頂きました

先日、東村山市の連絡会で、資源物の動向や分別に関し二〇分ですが、講演させて頂きました。皆様のリサイクルへの関心の高さから、多くの質問や資料の要望を頂きました。団体の皆様の会合で分別教室を開催することも出来ますので、お気軽にご連絡下さい。

